

2024年度

環境経営レポート

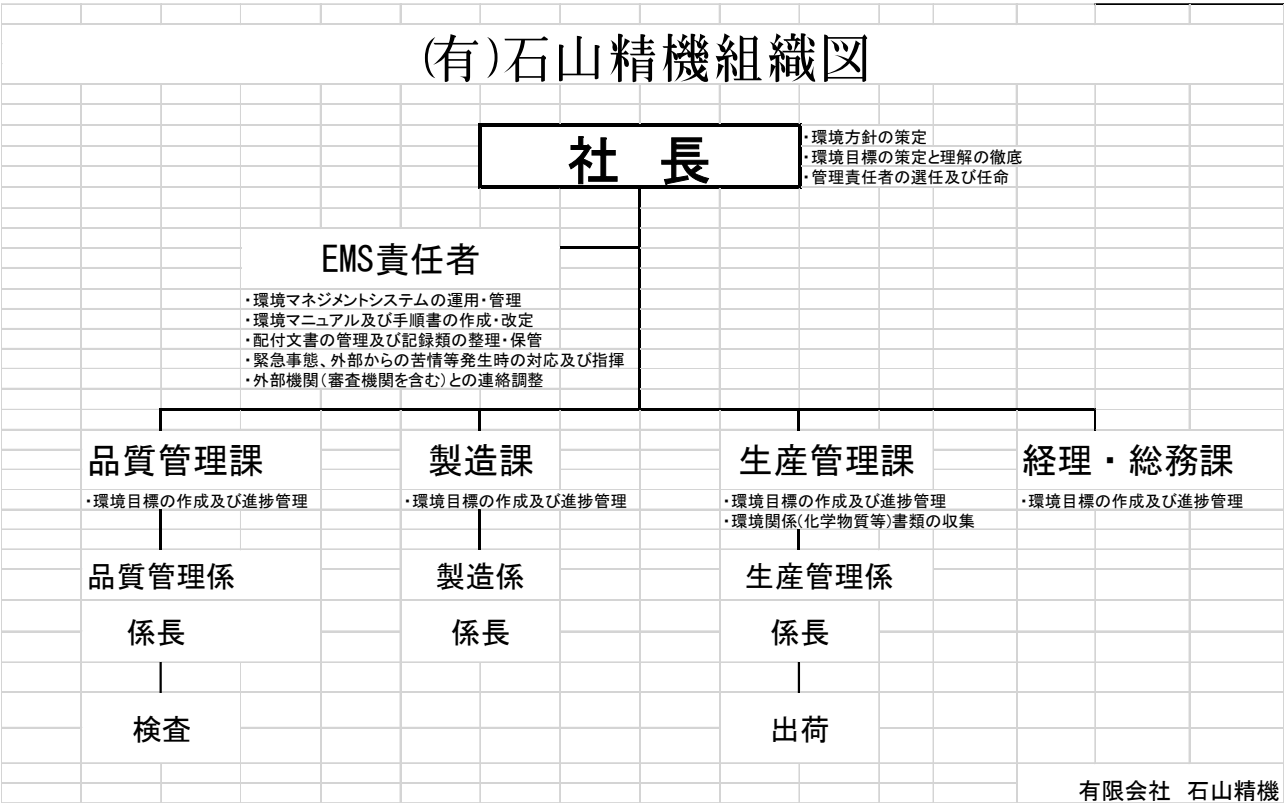
「2023年6月～2024年5月」

2024年9月26日

有限会社 石山精機

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 有限会社 石山精機
代表者氏名 : 代表取締役社長 石山武司
- (2) 所 在 地 : 福島県郡山市富久山町福原字戸屋 5 0
- (3) EMS 責任者／担当者 : 石山武司 TEL 024-923-5953
- (4) 事業の内容 : カメラ等の光学機器、自動車部品、及びその他精密部品の自動旋盤による切削加工業
- (5) 事業の規模 : 売上高 3. 0 億円
- | | |
|-------|------------------------|
| 従業員数 | 34 名 |
| 延べ床面積 | 1,076.3 m ² |
- (6) 事業年度 : 6 月から翌年 5 月
- (7) 法人設立年月日 : 昭和 4 3 年 6 月
- (8) 資本金 : 3 0 0 万円
- (9) 対象範囲 : 所在地にある全ての組織・活動
- (10) 実施体制



2. 環境方針

【環境方針】

有限会社石山精機は、様々な製品の精密部品を提供する事により社会の一員として環境の汚染を防止し、資源の有効活用に努め、地球環境の保全を目指し継続的改善活動を図ります。

1. 環境・安全に配慮し、環境保全に適した生産活動に努める。
2. 製造・物流・使用・廃棄等に於いて、環境保全活動の向上に努め継続的な環境負荷の最小化を図る
3. 全ての企業活動に於いて、排出抑制・リサイクルを推進し、省資源・省エネルギー化を目指す。
4. 国、県、周辺地域のみならず、国際社会の環境に関する法律・規制を遵守し、環境汚染を防止する。
5. 環境目的及び目標を設定し、監査を通じて環境マネジメントシステムを継続的に見直す。
6. 環境に関する意識を向上させる為、従業員の教育に努める。
7. 環境方針は組織に関係する全ての人に周知し、一般の人へも開示しいつでも入手出来る様にする。

2012年6月1日発行

2015年6月8日改定

有限会社 石山精機
代表取締役 石山武司

3. 環境目標とその実績

環境目標	目標	単位	2023 年度実績	2024 年度	達成状況
	実績				
二酸化炭素排出量の削減	目標	Kg-CO ₂	450,642	401,381 ‘23.5月から1%減減	○
	実績	Kg-CO ₂	405,436	374,835	
一般廃棄物排出量の削減	目標	kg	1,492	1,492 ‘20.5月から1%減減	×
	実績	kg	2,059	1,905	
産業廃棄物排出量の削減	目標	リットル	4,455	4,455 ‘19.5月から1%減減	×
	実績	リットル	2,950	3,200	
水使用量の削減	目標	m ³	266	266 ‘19.5月から1%減減	×
	実績	m ³	455	456	
化学物質使用量の適性管理	目標	kg	該当物質無	該当物質無	○
	実績	kg	該当物質無	該当物質無	
工具使用量の削減	目標	円	‘19 年度売上比 1 %削減	‘19 年度売上比 1 %削減	○
	実績	円	売上比 10%以下 (10.3%)	売上比 10%以下 (6.4%)	

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は丸紅新電力 2020 年版を使用し、0.542kg-CO/kWh を使用しました。2024 年度まで同じ係数を使用します。

4. 中期の環境目標（2025 年～2027 年度）

環境目標	単位	基準値	2025 年度目標	2026 年度目標	2027 年度目標
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	405,436	401,381 ‘23.5 月から 1%削減	397,327 ‘23.5 月から 2%削減	393,272 ‘23.5 月から 3%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	1,508	1,492 ‘20.5 月から 1%削減	1,477 ‘20.5 月から 2%削減	1,462 ‘20.5 月から 3%削減
廃棄物排出量の削減	リットル	4,500	4,320 ‘19.5 月から 4%削減	4,275 ‘19.5 月から 5%削減	4,230 ‘19.5 月から 6%削減
水使用量の削減	m ³	269	266 ‘19.5 月から 1%削減	263 ‘19.5 月から 2%削減	260 ‘19.5 月から 3%削減
化学物質使用量の適性管理	kg	該当物質無	該当物質無を維持	該当物質無を維持	該当物質無を維持
工具使用量の削減	円	32,127,000	30,841,920 ‘19 年度売上比 4%削減	30,520,650 ‘19 年度売上比 5%削減	30,199,380 ‘19 年度売上比 6%削減

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は丸紅新電力 2020 年版を使用し、0.542kg-CO/kWh を使用しました。2024 年度まで同じ係数を使用します。

基準値は全て 2020 年度の実績を元にしております。

総排水量は計測困難の為、水使用量（上水）で管理しています

● 中長期環境経営目標

2024 年度

価格高騰によるエネルギー費や刃具、油材の購入費に影響がある。今年度も出来得る限りの節減を図り、効率的な資源の使用を心掛けていく。

5. 環境活動計画及び取組結果と評価並びに次年度の取組内容

環境目標	達成状況	環境活動計画内容	実施状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	○	空調温度の適性化 ピーク電力量の抑制 未使用設備のスイッチオフ 不要照明の消灯	○ ○ ○ ○	休遊機等の電源の管理や休日のコンプレッサーの管理等、節電できるところは実施する事を継続していく。
一般廃棄物の削減	×	コピー回数の削減 裏紙の使用 両面コピーの実施 電子機器の使用によるペーパーレス化	○ ○ ○ ○	150kgの削減を達成できた。5S活動の一環の床の油汚れの清掃によりウエス、油吸着マットの使用量は増えたままとなっているが、活動は継続していきたい。
産業廃棄物の削減	×	金属くずの100%リサイクル 作業ミスによる排出量の削減 不適合製品の削減	○ × ○	産業廃棄物の廃油に関しては前年の2,950ℓから3,200に増加してしまった。不良損金に関しては前期6,280千円から5,700千円となり改善はしたが目標未達となった。
総排水量の削減	×	節水活動の推進	×	今後も継続して活動する。
工具使用量の削減	○	使用工具の削減	○	使用工具の削減では売上比率で10.3%から6.4%となり前年より4%削減出来た。
化学物質使用の適正管理	○	含有禁止化学物質と工程使用禁止化学物質の不使用の維持 含有管理・工程管理化学物質の不使用	○ ○	規制対象物質は使用していない。今後も適正管理を行っていく。

6. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

①当社の事業活動において適用される主な環境関連法規制と遵守状況

適用される法規制等	遵守状況
廃棄物処理及び清掃に関する法律	○
振動規制法	○
騒音規制法	○
水質汚濁防止法	○
環境基本法	○
フロン排出抑制法	○
P R T R 法	○
消防法	○
R o H S 指令	○
化審法	○
E A R 規制	○
P F O S 規制	○
R E A C H 規制	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	○
ボイラー及び圧力容器安全規制	○

2024年6月1日法規制の遵守状況进行评估しましたが、違反はありませんでした。

関係機関からの指摘や周辺住民からの訴訟はありませんでした。

7. 代表者による評価と見直し結果

(1) 個別評価

① 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量は前期の405,436Kg-CO₂から、30,601Kg-CO₂削減の374,835Kg-CO₂となった。電力量は前年度800,273kWから797,662kWとなり2,611kWの削減となった。現在の受注状況は落ち込みが続いており、結果として二酸化炭素発生量、電気使用量は共に削減出来たが、機械の稼働量も減っている状態で今後回復傾向を迎える際には無駄の無い使用を心掛けていく。

② 一般廃棄物の削減

結果としては年間の廃棄物量の合計で前年度の2,059kgから1,905kgと159kgの微減となった。現在も5S活動の一環で床の油污れの清掃を毎日行う事とした事によりウエス、油吸着マットの使用量は変わっておらずその影響も要因の一つと考えている。

③ 産業廃棄物の削減

前年度の2,950ℓから3,200ℓと250ℓの微増となった。現在の受注状況は落ち込みが続いている。機械の稼働率も2割から3割落ちている状況ではあるが、結果としては増加になっている事は注視していきたい。

④ 総排水量(使用量)の削減

前年度455ℓで今年度が456ℓとほぼ同じとなった。5S清掃活動の中で毎日入口前、切粉搬出口前、材料搬入口前の床清掃を行っている事が考えられるが今のところ清掃活動は継続していく予定。

⑤ 工具使用量の削減

工具の使用量に関しては10.3%から6.4%と3.9%の削減ができた。目標に対しては達成できたが、依然として購入価格が高騰している昨今の状況を鑑みれば今後も注視していく。23年度刃具購入額 ¥19,242,000

不良品に対する損金は前年度628万円からさらに570万円と削減できた。購入金額だけに限らずエネルギー使用量、作業時間全てに係わる事なので、不良品に対してはしっかり原因の究明と再発防止対策を行っていく。

⑥ 化学物質使用の適正管理

弊社では現在PRTTR対象物質の使用は無いが、今後も適正管理を継続していく。

(2) 見直し評価

総括としては3項目で目標達成となった。

現在の受注状況は若干落ち着いている状況で、今期はどの程度の受注量で推移するのか予測が難しい。使用する資源で刃具や電気料等は削減出来ているので継続していきたいが、不良品等目標未達成となった項目での資源のムダを省き更なる削減を目指していく。